

人工関節センター 肩・膝・スポーツ関節鏡センター



当センターを受診される患者様へ

■受診の際には現在服用されているお薬の確認のため、お薬手帳をお持ちください。

■手術を希望される患者様は、術前検査のため通常2~3回程度当院での診察が必要です。

遠方からお越しになる患者様の負担をできるだけ軽減するために、1回の受診で診断から術前検査、評価を行えるようにスケジュールを調整させていただきます。

【山田 雄一郎医師】

外来診療日時 9:00~12:00 (窓口受付/8:30~11:30)

月	火	水	木	金
○	—	—	—	—

当院までのアクセス

マイカー

外来患者さまの利便性向上のため、駐車場を病院周辺に4か所ご用意しております。外来患者様には、5時間無料の割引をさせていただきますので、「駐車券」を院内受付にご提示ください。

公共交通機関でお越しの方

地下鉄高畑駅より

市バス「高畑13(8番のりば)野跡駅・港区役所行」(中川住宅下車すぐ)

八田駅より(JR・近鉄・地下鉄)

市バス「高畑13(1番のりば)野跡駅・港区役所行」(中川住宅下車すぐ)



無料送迎シャトルバスを運行しております

地下鉄高畑駅と名古屋共立病院 外来棟の間で、無料送迎シャトルバスを運行しています。

シャトルバス時刻表は名古屋共立病院 外来棟の受付またはホームページでご確認下さい



診療
予約

052-353-9100

月曜から金曜 9:00~17:00 (祝日・年末年始を除く)

医療法人偕行会
名古屋共立病院

「人工関節手術」との出逢いが

ボクの医師人生を変えた



幼いころは脳神経外科医をめざしていましたが、名古屋第一赤十字病院での研修医時代にそれまで痛くて歩くこともままならなかった患者様が、人工関節の手術を受けられ元気に歩くことができるようになった姿を見て「整形外科は短い期間で患者様へ最大の還元ができる診療科だ。そして、人が幸せに暮らすために必要な診療科でもある。」と考え、整形外科医の道を選びました。

その後は、肩・肘のスポーツ疾患で手術実績全国トップの羊ヶ丘病院（北海道）をはじめ、フランスで8年連続総合病院ランキング1位のCHP、Saint-Gregoire病院、膝のスポーツ障害で日本屈指の症例数を誇る善衆会病院（群馬県）で腕を磨いてきました。2019年4月から名古屋共立病院へ赴任。これまでの総手術件数は約3,000件です。

人工関節センター／肩・膝・スポーツ関節鏡センター
山田雄一郎 医師

《所属学会》
San Diego Shoulder course
：アメリカサンディエゴの肩学会
日本肩関節学会
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会（JOSKAS）
日本人工関節学会
European Society for Trauma and Emergency Surgery（ESTES）
：ヨーロッパの外傷・救急手術学会
日本骨折治療学会
東海外傷研究会
北海道整形外科災害外科学会
日本骨粗鬆症学会

《認定医・専門医》
日本肩関節学会認定 リバース型人工肩関節認定医
自己培養軟骨移植ジャック 認定医
日本整形外科学会専門医
日本リウマチ財団登録医
日本骨粗鬆症学会専門医
日本救急医学会認定ICLSコース 修了
AO Trauma Starter course 修了
OSE Standard Course HIP 修了
Zimmer Trauma Course 修了
AO Trauma course-Basic Principles of Fracture Management 修了
Asia Pacific Early Intervention Knee Course 修了
Cadaver Dissection course for Surgical Exposures in Orthopaedics 修了

スペシャリティを活かし、 チーム医療を推進

当センターは、医師・看護師・診療放射線技師・理学療法士・作業療法士・メディカルセクレタリーらが連携し、チーム医療を推進。カンファレンスでは、多職種が意見を出し合い患者様にとって最適な医療が提供できるよう努めているほか、院内勉強会を定期開催し整形疾患に対する知識を高めています。

山田先生に理想の医療について伺うと、「的確な診断で患者様のフェーズにあった最適な治療を提供すること。そのためには、チーム全員ができるだけ同じ知識を蓄え、患者様の病態についてしっかりと理解し、診察室の外での些細な変化にも気づくなど、それぞれの職種の専門性を活かし、そして個々の能力を高めていくことが重要です。」とのこと。



手術室

患者様にとって手術は大きな出来事です。患者様の気持ちに寄り添い、安心していただけるよう今後も技術を磨いていきます。また、安全な手術環境を整え、最高の手術が実施できるようにすることも私たちの役目と考えています。手術室内では五感をフル活用し、山田先生をサポートしていきたいと思っています。

看護師 小林明美 副部長



リハビリテーション室

私たちの手でどこまで正常に近い状態までよくなるようにできるのか。常に試行錯誤を繰り返しています。手術後も安心してリハビリを受けられ「名古屋共立病院のリハビリはとても良い。」と言われるよう、日々技術を高め、環境を整えていきます。

理学療法士 渡井陽子



外部講師による指導

外部施設から著名な理学療法士の講師を招いて、最新のリハビリ技術を学び患者様へ安心安全なリハビリを提供する環境を整えています。また周辺の医療機関の理学療法士、作業療法士、柔道整復師の方と合同で勉強会を定期的に開催し、新しい技術の情報共有など医療連携に努めています。

